

2022.8.13 SAT

奈良公園バスターミナル・レクチャーホール

# 継承 承継

2022

親から子へ、師から弟子へ  
すべての家族に捧げる物語

映画 × 狂言 × 事業承継トークセッション

「よあけの焚き火」

「口真似」

トークゲスト.. 旅館松前

柳井尚美

柳井花観



大藏流親子三代

大藏彌右衛門

大藏基誠

大藏康誠

# 100年後の未来のために、次の世代へ何を伝えていくのか。

「能・狂言」は、現存する世界最古の舞台芸術で、2008年にユネスコの無形文化遺産に登録されました。大藏流は、戦争など幾多の苦難を乗り越えながら、650年を超えて受け継がれてきました。

一方で、今、各地で、多くの方々が事業承継の問題に直面しています。本公演では、能楽師狂言方大藏流親子三代による狂言の上演に加え、その継承の姿を描いた映画『よあけの焚き火』上映、そしてここ奈良の地で事業承継を決意した旅館松前との対談を通して、「継承」(芸や技を継ぐこと)と「承継」(精神を継ぐこと)のエッセンスを紐解きます。

家族、企業、地域、社会など、それぞれの「家族」が、100年後の未来のために、次の世代へ何を伝えていくのか、考える機会になれば幸いです。



## 映画情報

## よあけの焚き火

第67回サン・セバスティアン国際映画祭 正式招待  
第23回オリンピア国際映画祭 最優秀監督賞 受賞ほか

私は自分の映画で“家族”を描いてみたい、と常々考えていました。伝える、伝わる、というのは一体どういうことなのか.....。私はその問いの答えを、能楽師狂言方の大藏基誠、康誠親子に求めました。受け継ぎ、そして伝えることを宿命として背負った彼らの姿から、“伝えること”とは何なのか、そのヒントが得られるのではないかと考えたのです。(監督・脚本・編集 土井康一コメントより)

2018年/日本/72分/カラー/ビスタ/製作・配給:桜映画社 監督・脚本・編集:土井康一  
撮影:丸池納 音楽:坂田学 出演:大藏基誠、大藏康誠、鎌田らい樹、坂田明

奈良だけの  
特別公演  
狂言大藏流  
親子三代で  
狂言「口真似」  
を上演



大藏流二十五世宗家  
おおくらやえもん  
**大藏彌右衛門**



二十五世宗家大藏彌右衛門の次男  
おおくらもととなり  
**大藏基誠**



二十五世宗家大藏彌右衛門の孫  
おおくらやすなり  
**大藏康誠**

松前  
旅館  
Ryokan  
Matsumae



## 事業承継トークセッション

### 「次の世代へ継ぐこと ～伝統芸能と事業承継～」

奈良の「ご縁が結ぶ出逢い多き、奈良の情けと食を伝える木造築100年の宿」また大藏流狂言・小舞稽古場、また墨、写経WORKSHOPの場として、そして鏡板(写真左)を始めとする所縁の品々を中心に「ならまち・まちかど博物館」として、宿泊目的以外の観光客も立ち寄る老舗宿。

当代女将、柳井尚美さんは桃蹊(とうけい)という雅号で活動する書家でもある。この度、親から子である花観(はなみ)さんが旅館業を受け継ぐ。

伝統と心を受け継ぎ、新しい旅館松前が始まる。

## プログラム

- 12:30 開場
- 13:00 ご挨拶(映画監督 土井康一)
- 13:03 映画「よあけの焚き火」上映
- 14:15 休憩
- 14:30 ご挨拶(映画監督 土井康一)
- 14:33 大藏流狂言「口真似」上演
- 14:53 事業承継トークセッション  
(大藏彌右衛門、大藏基誠、大藏康誠、土井康一)
- トークセッション「次の世代へ継ぐこと ～伝統芸能と事業承継～」  
(大藏基誠、大藏康誠、柳井尚美、柳井花観、土井康一)
- 15:30 終演

\*予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催:株式会社テイクバイセブン 後援:奈良県

## 会場

〒630-8213  
奈良市登大路町76番地 県庁本庁舎東側  
奈良公園バスターミナル 2階 レクチャーホール  
※駐車場はございません。  
お近くの駐車場または公共交通機関をご利用ください。

一般:3,000円 中高生:1,500円 小学生:500円

## チケットのお申し込み

- \*旅館 松前  
奈良県奈良市今御門5 Tel:0742-22-3686
- \*奈良県観光情報サイトあををよしなら旅ネット  
(一般財団法人奈良県ビジターズビューロー)
- \*チケットぴあ(Pコード 513-600)
- \*カンフェティ

右のQRコードからお申し込みできます。

